



2026年9月30日

各 位

会社名 日鉄ソリューションズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 玉置 和彦
(コード：2327、東証プライム、名証、福証)
問合せ先 管理本部総務部長 田村 淳
(TEL. 03-6899-6000)

当社子会社の代表取締役社長に対する譲渡制限付株式としての自己株式処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、譲渡制限付株式として自己株式処分（以下「本自己株式処分」といいます。）を行うことについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

1. 処分の概要

(1) 払込期日	2026年10月29日
(2) 処分する株式の種類及び株式数	当社普通株式 559株
(3) 処分価額	1株につき 3,788 円
(4) 処分価額の総額	2,117,492円
(5) 割当予定先	当社子会社代表取締役社長 5名 559株

2. 処分の目的及び理由

当社は、2022年度より、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除きます。）、及び執行役員に対して当社の企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを付与するとともに、株主の皆さまと一層の価値共有を進めることを目的として、当社の取締役及び執行役員を対象とする譲渡制限付株式報酬制度を導入しています。

今般、当社のグループ連結経営強化の方針を踏まえ、子会社社長に対しても当社グループの連結経営に対する役割をより強化するとともに、子会社社長の中長期的な企業価値向上に向けたインセンティブ性を確保するため、譲渡制限付株式を付与することといたしました（以下「本制度」といいます。）。

本制度の概要については、以下のとおりです。

<本制度の概要>

対象となる子会社の代表取締役（以下「対象者」といいます。）は、本制度に基づき当社より支給された金銭報酬債権の全部を現物出資財産として払い込み、当社の普通株式の発行又は処分を受けることとなります。

本制度により対象となる子会社の代表取締役社長に対して発行又は処分される当社の普通株式の

1株当たりの払込金額は、取締役会決議の日の前営業日における東京証券取引所における当社の普通株式の終値（同日に取引が成立していない場合は、それに先立つ直近取引日の終値）を基礎として、割当てを受ける対象者に特に有利とされない範囲において取締役会において決定いたします。

また、本制度による当社の普通株式の発行又は処分に当たっては、当社と割当てを受ける対象者との間で譲渡制限付株式割当契約を締結するものとし、その内容として、次の事項が含まれることとします。

- ① あらかじめ定められた期間、割当てを受けた当社の普通株式について譲渡、担保権の設定その他の処分をしてはならないこと
- ② 一定の事由が生じた場合には当社が当該普通株式を無償で取得すること

今般、当社は、本制度の目的、当社の業績、各対象者の職責の範囲その他諸般の事情を勘案し、本日開催の取締役会の決議に基づいて、対象となる子会社の代表取締役社長5名に付与される当社に対する金銭報酬債権の合計2,117,492円を現物出資の目的として（募集株式1株につき出資される金銭報酬債権の額は金3,788円）、当社の普通株式合計559株（以下「本割当株式」といいます。）を付与することを決議いたしました。

<譲渡制限付株式割当契約の概要>

当社と対象者は個別に譲渡制限付株式割当契約（以下「本割当契約」といいます。）を締結いたしますが、その概要は以下のとおりです。

（1）譲渡制限期間

対象者は、2026年10月29日（払込期日）から当社子会社の代表取締役社長のいずれの地位も喪失する日までの間、本割当株式について、譲渡、担保権の設定その他の処分をすることはできない。

（2）譲渡制限の解除条件

対象者が、2026年10月1日から2027年3月31日までの間（以下「本役務提供期間」という。）、継続して対象となる子会社の代表取締役社長の地位（以下「本地位」という。）にあることを条件として、本譲渡制限期間の満了時において、本割当株式の全部につき、譲渡制限を解除する。ただし、対象者が本役務提供期間において本地位を喪失した場合、譲渡制限期間の満了時において、2026年10月から当該喪失の日を含む月までの月数を6で除した数（ただし、1を超える場合は1とみなす。）に、本割当株式の数を乗じた数（ただし、計算の結果、1株未満の端数が生ずる場合には、これを切り捨てる。）の本割当株式につき、譲渡制限を解除する。

（3）当社による無償取得

当社は、譲渡制限期間が満了した時点その他契約書に定める所定の時点において、譲渡制限が解除されていない本割当株式を当然に無償で取得する。

（4）株式の管理

本割当株式は、譲渡制限期間中の譲渡、担保権の設定その他の処分をすることができないよう、譲渡制限期間中は、対象者が大和証券株式会社に開設した譲渡制限付株式の専用口座において管理される。

（5）組織再編等における取扱い

譲渡制限期間中に、当社が消滅会社となる合併契約、当社が完全子会社となる株式交換契約又

は株式移転計画その他の組織再編等に関する事項が当社の株主総会（ただし、当該組織再編等に関して当社の株主総会による承認を要しない場合においては、当社の取締役会）で承認された場合には、取締役会の決議により、組織再編等効力発生日の前営業日の直前時をもって、2026年10月から組織再編等効力発生日を含む月までの月数を6で除した数（ただし、1を超える場合は1とみなす。）に、本割当株式の数を乗じた数（ただし、計算の結果、1株未満の端数が生ずる場合には、これを切り捨てる。）の本割当株式につき、譲渡制限を解除する。

3. 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

本自己株式処分は、本制度に基づき割当予定先に支給された金銭報酬債権を出資財産として行われるものであり、その払込価額は、恣意性を排除した価格とするため、2026年9月29日（取締役会決議日の前営業日）の東京証券取引所における当社の普通株式の終値である3,788円としております。これは、取締役会決議日直前の市場株価であり、直近の株価に依拠できないことを示す特段の事情のない状況においては、当社の企業価値を適切に反映した合理的なものであって、対象者にとって特に有利な価額には該当しないと考えております。

以上